

鹿屋市立鹿屋女子高等学校

なのはな学校だより

平成31年4月18日発行〈第1号〉

『深く、広く、高く』



平成31年4月、鹿屋市立鹿屋女子高等学校は、152名の新生を迎えました。5月には令和改元も行われますが、創立62周年を迎えた本校も、年度内に現在建設中の新校舎が完成し、これまでの伝統を踏まえ、新たな飛躍に向かいます。

本校は、大隅半島唯一の市立女子高として、生徒の育成とその進路実現に努め、地域に親しまれ愛される学校、地域になくてはならない学校を目指して、その礎を築き、生徒・職員

で様々な教育活動に取り組む所存です。

今年度を迎えるに当たって、生徒の皆さんへは、4月8日の始業式、9日の入学式において三つのこと、「深く、広く、高く」について話し、「深く考え、広い視野と高い理想をもって行動できる人」を目指してください、と伝えております。

第一に、これまで生きてきたこと、これから生きることへの深い想像力をもつこと。

皆さんは一人で生きてきたわけではない。一人で生きていくのでもない。与えられるだけでなく、与えることもたくさんありました。それは、これからの人生でますます意味を持つことになるはず。生きていくことで自分を必要とする人や物事が必ずあることを深く想像してください、と。

第二に、人権を尊重し視野を広げること。

人は人との関わりの中でこそ豊かに成長します。友人や先生方などとの人間関係から、喜びを分かち合い、苦しい時に支え合い、時には厳しく正し、皆さんの視野を広げてくれる真の友を得ることができます。最良の「我が友」や「我が師」との出会いは幸福であり、生涯の礎となります。皆さんが、本校で同級生や先輩、将来の後輩などと交わり、視野を広げることをお願いします、と。

第三は、高い理想を持つ、よき学習者であること。

一人一人が、自ら学ぶことはもちろん、他の人と互いに学び合うという関係にあることを自覚する。それは一人だけで学ぶより、より深い学びにつながります。また、教える立場の先生方も、熱心な学習者である皆さんから多くを学ぶのです。

高校時代は、社会生活につながるルールを学び、知性と品性を磨き、精神的にも一回りも二回りも大きく成長させていく時期です。ないうることに限りはありません。高い理想を持ち、新たな自分を見いだそうとするよき学習者であり続けてください、と。

この春に卒業した156人の先輩たちを始めとする、1万7千人を超える同窓生、保護者の皆様、転職された教職員や地域の方々の方々の本校に期待する想いを受け止め、生徒とともに職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬ御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第62回入学式

4月9日(火)、本校体育館にて第62回入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生152名を迎え、新しい鹿屋女子高校のスタートを切りました。



対面式・部活動紹介

4月10日(水)、対面式が行われました。本校の伝統行事にもなっている「先輩から後輩への組章贈呈式」や「新入生へのメッセージカード贈呈」では、1年生は先輩からの心温まるメッセージカードを受け取り、一気に先輩方との距離も近づきました。その後の部活動紹介での、先輩方の生き生きした姿を見て、どの部活動に入部するか、新入生の興味関心も高まったようです。



宿泊学習

最高の高校生活にしよう！！

4月11日(木)から1泊2日の日程で、国立大隅青少年自然の家(おおすみくん家)において、新一年生を対象に宿泊学習が行われました。新しい友人との仲を深めながら、高校生活の基本的な過ごし方を学びました。



鹿屋女子高校の詳しい情報をホームページに掲載しています。鹿屋女子高校で検索してください。

鹿屋女子高校

検索